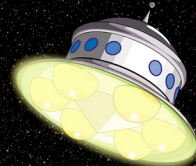


よもやま学園

天文部

秋の星空編



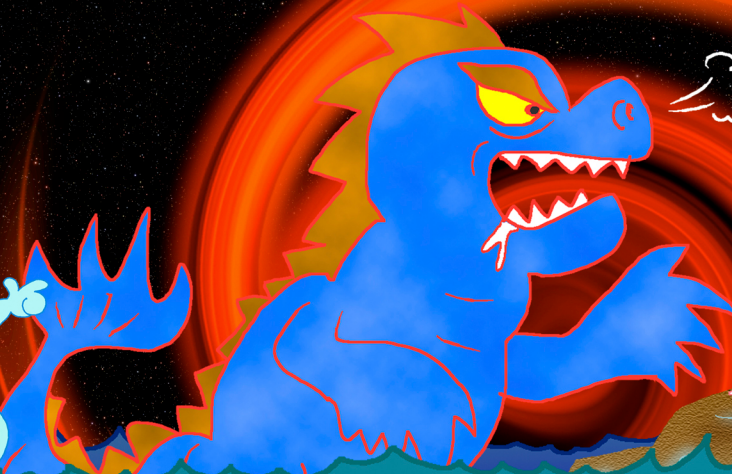
よもやまがたる君



ほんまがいな君



わがらんちゃん





よもやま学園天文部

天文部

秋の星空編



今夜もよもやま学園天文部の3人が、
星見会の打ち合わせをしています。

部長のよもやまかたる君「宇宙っていうのはだねえ…」

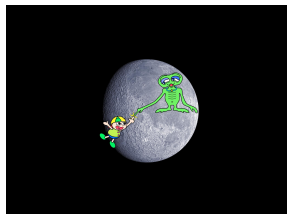
部員その1、ほんまかいな君「なっとくいかないっす!」

部員その2、わからんちゃん「ぜ～んぜんわっかりませ～ん!」

個性豊かな3人が、宇宙についてあれやこれやと話し合います。(約22分)

★秋の夜空の宇宙人さがし

かたる君が“くじら座”の場所を説明しはじめました。なんかいつもより詳しくやってるな～と思ったら、くじら座を作る星の中から1つを選び出したのです。実はこの星、かつて人類が宇宙人との交信を試みるためにメッセージを送った星だったんです。人が夜空を見上げ、宇宙について考えるとき、「宇宙人っているのかな?」と疑問を持つ人は多いはず。よもやま学園天文部の3人もそんな疑問を持ちました。さて、どんな会話になるのでしょうか?



★ギリシャ神話でちょっと一服～エチオピア王家の神話～

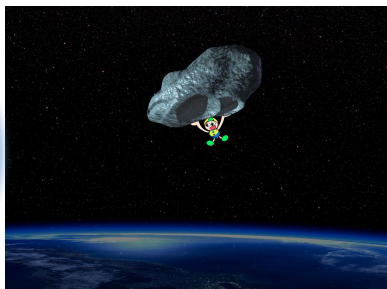
秋の星座といえば、エチオピア王家のお話にまつわるものが多いです。化けくじらに襲われそうになっているアンドロメダ姫を勇者ペルセウスが見つけ…。このギリシャ神話をはりきって語るらんちゃん。その話を最後まで聞いていたかいな君は、どうも納得いかない様子です。そこでかいな君はこのお話を自分流の解釈で変えてしまい、最後のハッピーエンドもなんだかちょっとおかしいことになってしまいます。いつも何気なく聞き流しているギリシャ神話も、よく考えてみるとちょっと変? というところが時々ありませんか? 皆さんも一緒に考えてみてください。



★流れ星のひみつ ～大きさはどれくらい?～

流れ星が流れている間に願い事を3度言うことができれば、その願いはかなうらしい。そんな話を信じているのか、かいな君とらんちゃんは流れ星にむかって何か叫んでいます。

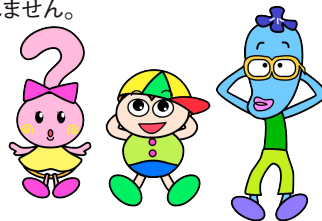
「足が長くなれ!」「女優になりたい!」そんな2人を見ていたかたる君は、自分の知識を自慢するかのように流れ星とは何かを説明しはじめます。それを黙って聞いていた2人ですが、流れ星の大きさの話になるとちょっと信じられなくなります。「じゃ、実際に試してみよう。」そう言って、かたる君はかいな君を宇宙へ瞬間移動してしまいました。さて、3人の実験はうまくいくでしょうか?



★将来の太陽の姿 NGC7293

太陽ってよくよく考えるとすごいですよね。春・夏・秋・冬と季節を作ってくれるし、そもそも太陽が無かったら私たちは今、ここにいないはずですから。では、その太陽っていつまであるのでしょうかね?

100年後? 1万年後? もっとずーっと先のような気がしますが…。「NGC7293」なんて言うのちょっと難しそうだけど、要するに私たちの太陽がずーっと未来には、こんな感じになって最後を迎えるだろうってことなんです。そんなことを考えながら夜空を眺めていると今までとはちょっと違った感覚で星空を見ることができるようになるかもしれません。



今夜も宇宙の色々な不思議と出会ったこの3人。彼らはいったい何者なのでしょう。なぞはなぞのまま、夜はふけていくのでした。